

令和3年度学校自己評価表

愛知産業大学工業高等学校
全日制課程

I 学校の現況

- (1) 学校名 愛知産業大学工業高等学校
- (2) 課程 全日制課程（男子）・通信制課程（男子・女子）
- (3) 所在地 全日制課程 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山一丁目2番29号
橋校舎 〒460-0016 名古屋市中区橋二丁目6番15号
TEL：052-322-1911 FAX：052-332-3427
ホームページ：<http://www.asu.ac.jp/tech/>
メールアドレス：info-tech@asu.ac.jp
- 通信制課程 〒460-0016 名古屋市中区橋一丁目21番25号
TEL：052-322-5255 FAX：052-322-5259
ホームページ：<http://asu-tchs.jp/>
メールアドレス：asu-tchs@asu.ac.jp

(4) 沿革

- 昭和36年 前身の愛知工芸高等学校が創立する。電気通信科設置
- 昭和37年 学校名が東海工業高等学校に改称される。電気科設置
- 昭和38年 電気通信科を電子科に改称
- 昭和40年 通信制課程普通科を新設
- 昭和43年 通信制課程に電気科・機械科を増設
- 昭和54年 岩塚校舎が落成
- 昭和57年 4号館が落成
- 平成6年 家庭科実習棟が落成
- 平成12年 通信制課程校舎が落成
- 平成13年 愛知産業大学工業高等学校に改称
- 平成14年 管理棟が落成
- 平成19年 2・3号館が落成
- 平成23年 創立50周年を迎える
- 平成27年 伊勢山本校舎が落成
- 平成29年 橋校舎110周年記念アリーナが落成
- 令和3年 創立60周年を迎える

(5) 学科の構成

①電気科

生活に密着した電気について電気エネルギーの発電・送配電・電動機・屋内配線・新エネルギーの仕組みなどを基礎から学習し、電気工事士を中心に各種の資格取得を目指します。また、さらに高度な知識と技術を身につけるために、大学・専門学校への進学も目指します。

《目標資格》 第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士

②電子科

電子回路・電子機器の学習に加え、通信技術・パソコン技術の習得、パソコンを活用したプログラミング・Webデザイン・グラフィックデザインなどを学習します。また、さらに高度な技術を身につけるために、大学・専門学校への進学を目指します。

《目標資格》 基本情報技術者、第一級アナログ通信、第二級アナログ通信、第一級デジタル通信、第二級デジタル通信、第1級陸上特殊無線技士、第2級陸上特殊無線技士

③機械科

1年生では実習を通して、工業人として必要な機械・電気・電子の基礎知識を習得します。2年生からは機械加工・ロボティクス・スポーツアドバンズ・進学の4つのコースに分かれ、それぞれの分野に応じた内容の知識や技術を習得し、社会から必要とされる人材の育成を目指します。

《目標資格》 アーク溶接技能検定、ガス溶接技能講習、旋盤技能検定

(6) 生徒数 (全日制課程) 令和4年5月1日現在

学年	1学年	2学年	3学年	合計
電気科	101	82	62	195
電子科		106	70	226
機械科	203	303	240	746
合計	304	380	372	1167

II 教育目標

- (1) 「建学の精神」：豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する
- (2) 「教育目標」：社会から歓迎される技術者の育成をめざして、電気・電子・機械に関する専門教育を実践し、時代の進展を視野に入れた基礎能力を定着させ、更に、将来のスペシャリストとして、専門の力をつけるよう教育内容の充実と改善に努めております。また、心豊かで誠実で、また積極的に努力する人材の育成を教育理念としています。
- (3) 「校訓」：感謝・礼儀・誠実・積極・努力
- (4) 「誓いの言葉」：私たちは父母のおかげで勉学する機会が与えられているからその期待にそむかず一生に二度とこないこの時を無駄にすることなく勉学と修養に励み社会から喜ばれる人間になろう。

新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴う予定変更

- ・ 9月 1日（水）～9月 3日（金） 休業
- ・ 2学期始業式 9月 1日（水）→9月 6日（月）
- ・ 9月 6日（月）～9月17日（金） 分散登校
- ・ 9月21日（火）～9月30日（木） 40分×6限 時差登校
- ・ 10月1日（金） 平常授業再開

教務（学習指導）

重点目標	主な結果
<p>1. 基礎学力の向上と定着</p> <p>○基礎学力向上のため、課題試験の各教科平均50点以上を目指す。</p> <p>○成績不振者に対して保護者・生徒との面談を実施し、原級留置者ゼロを目指す。</p>	<p>○緊急事態宣言発出により夏休み中の基礎学力向上講習は中止。平均点50点以上の目標は複数教科にわたり未達成。</p> <p>○2学期末の成績不振者面談は実施したものの、原級留置者有り（1名）。</p>

【自己評価及び課題等】

- 各教科と連携し、重点項目を掲げるとともに、無理のない学習計画を立て、理解しやすい所から授業を始める。
- 今後は英国数の3教科と専門教科に加え、社理の学力向上も図っていく。

重点項目	主な結果
<p>2. 資格取得の奨励</p> <p>○年間予定表を配布し、積極的な受験を促す。</p> <p>○コロナの影響がまだ残るが、資格取得の機会が失われないよう、可能な範囲で挑戦できる機会を提供する。また、補習や講習なども工夫して行っていく。</p>	<p>○愛知県知事技術顕彰は125名が該当。ジュニアマイスターは25名が認定。（特別表彰1・ゴールド3・シルバー7・ブロンズ14）</p>

【自己評価及び課題等】

- 各種資格試験を受験する機会が与えられた生徒の中でも、コロナ感染を警戒し、受験を控える生徒が多かったのが現状。その中でも基本情報技術者試験（2名合格）や計算技術検定1級（1名合格）は特筆すべき成果。

重点項目	主な結果
3. 教員の資質向上 ○研究授業、参観授業、現職研修の実施	○現職研修は 6/19 に実施。 10/9 予定分は8月中止の体験入学・入部開催の都合により中止。研究(参観)授業は各教科でほぼ実施。

【自己評価及び課題等】

○6/19 実施の現職研修内容

「ハラスメント防止研修」

外部講師を招いて、勤続年数別の3つのグループに分かれて実施。

重点項目	主な結果
4. 高大連携の取組み ○オープンキャンパスと夏期集中講義への参加	○愛知産業大学が実施するオープンキャンパスに28名が参加。夏期集中講義も複数生徒が参加。(愛産大志願者17名) ○愛産大18名、ELIC12名合格

【自己評価及び課題等】

○高大連携の事業として例年実施している夏期集中講義は、前年度はコロナの影響によりオンラインによる情報収集のみで中止となったが、今回は感染対策を講じながら実施した。愛産大への入学者数のさらなる巻き返しを図りたい。

重点目標	主な結果
5. グローバル教育の推進 ○海外インターンシップを実施し、生徒の視野を広げるとともにコミュニケーション能力・工業技術の向上を図る。	○ベトナム研修旅行は、コロナ禍により実施せず。

【自己評価及び課題等】 今後の実施については改めて検討する。

生徒指導（生活指導）

重点目標	主な結果
<p>1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。</p> <p>○他者を尊重する心を育み、社会ルールを徹底して自ら考える習慣をつける。教員側から挨拶の声かけを積極的に行い予防的指導に心がける。また、遅刻多重回の生徒に対して段階的に指導する。</p> <p>○正副ルーム長のリーダーシップを高める。</p>	<p>○遅刻率・欠席率ともに昨年度よりも悪化。 (遅刻率 R2 1.5% / R3 1.7%) (欠席率 R2 1.9% / R3 2.4%)</p> <p>○正副ルーム長認証式、2・3学期は中止。</p>

【自己評価及び課題等】

- 教員と保護者との連携に加え、生徒会執行部・代議員・風紀委員の活用により、落ち着いた学校生活につなげたい。また、欠席率・遅刻率の上昇に注意を払う。
- 正副ルーム長の育成により、望ましい学級づくりを目指す。

重点目標	主な結果
<p>2. みだしなみ 頭髪・服装指導</p> <p>○毎日、登下校時に学年主任を中心とする指導科教員が「みだしなみ指導」を実施する。</p> <p>○2か月に一度 頭髪と服装の徹底指導。</p>	<p>○服装違反は減少傾向。</p> <p>○流行の髪型（ツーブロックなど）が増加傾向にあり、適切な指導が今後の課題。教員間の統一指導が必要。</p>

【自己評価及び課題等】

- 服装も頭髪も違反者を放置せず、学校規則に基づいて保護者の理解を得ながら、教員間で統一した基準で指導することが必要。また、生徒自らの問題として認識させ、改善点は十分な話し合いのもとで合議による解決手続きを学ばせる。
- ツーブロックをはじめとした髪型や通学バッグについては、生徒・保護者・教員の意見をもとに再検討をはかる。

重点目標	主な結果
<p>3. 登下校マナーの向上および安全指導</p> <p>○自転車通学者に対して、DVD視聴による交通安全指導を実施する。</p> <p>○LT(ロングタイム)指導の充実</p>	<p>○通学マナーと意識向上を目的としたポスターを校内各所に掲示して意識高揚。</p> <p>○各学年2～3回の保健安全指導を実施。</p>

<p>○自転車安全安心モデル校として愛知県警主催の「自転車無事故無違反 200 日ラリー」に参加し、5 年連続表彰を目指す。 (令和 3 年 6 月 7 日～1 2 月 3 1 日)</p>	<p>○自転車無事故無違反ラリー 5 年連続の表彰を受けた。自転車通学者の車両点検、保険加入、登録申請 1 0 0 %</p>
---	---

【自己評価及び課題等】

○交通法令は浸透してきているが、通学途上での自転車事故が 1 8 件発生しており、安全運転の意識啓発（ヘルメットの着用など）を継続して行う必要がある。また、定期的な職員による通学路の巡回指導も必要である。

生徒指導（特別指導）

重点目標	主な結果
<p>1. 問題行動防止の意識向上</p> <p>○毎月 1 回全校放送で生活指導放送実施。また、毎日の ST(ショートタイム)で担任が物事の善悪の判断や先々を考えた行動の実践を呼びかける。</p> <p>○SNS 等のネットマナーの徹底</p> <p>○4 ナイ運動の徹底 ※二輪車による交通事故の防止するための運動</p> <p>①バイクの「免許を取らない。」 ②バイクを「買わない。」 ③バイクに「乗らない。」 ④バイクに「乗せてもらわない。」</p>	<p>○26 名の生徒が特別指導対象となった。</p> <p>○SNS による問題行動が 13 件発生。タブレット導入とともに利用マナーに対する個人情報管理のための継続指導が必要。</p> <p>○「4 ナイ」違反による特別指導者 2 件発生。</p>

【自己評価及び課題等】

○特別指導対象行為のうち、暴力行為は増加傾向。他に備品や設備の破損行為・飲酒行為・SNS 利用違反などがあった。18 歳成人年齢引き下げを含む民法改正が 2022 年 4 月 1 日から施行。良識ある行動について、各学年で意識を高める段階的な指導強化が必要。

重点目標	主な結果
<p>2. 被特別指導の再発をなくす。</p> <p>○特別指導後も教員が声かけ指導を実施する。</p> <p>○特別指導中の指導教材を時代に即したものに選定しなおし、指導効果を高める。</p>	<p>○特別指導中・仮解除後・本解除後の三段階を実施。解除後の生活が緩む傾向にある。</p> <p>○指導用 DVD を一部追加。 ※BR ディスクでの管理</p>

【自己評価及び課題等】

- 問題行動生徒に対しては、本人・保護者・学校間での連携と話し合いが大切。本人へ深い自省を促す有効な指導内容を検討して、今後も再発防止に努める。
- 学期ごとに「生活アンケート」を実施して、いじめに発展する可能性のある行為について学級担任が早期に、かつ的確に把握する。他者を尊重する指導を実践して、「いじめを発生させる余地のない」学校の実現を目指す。

進路指導

重点目標	主な結果
<p>1. キャリア教育の充実</p> <p>○1年次よりLTを利用して進路学習を実施</p> <p>○インターンシップ（2年次7月）</p> <p>○上級学校・企業見学（3年次4月）</p> <p>2. 生徒の資質向上を図る。</p> <p>○基礎学力（実力・課題）テストを実施</p> <p>○面接指導を学年・渉外・進路主任を中心に実施</p>	<p>○オリエンテーション合宿（1年生）が中止。LTでの担任指導が主となった。</p> <p>○94名（47社）が参加。</p> <p>○コロナにより中止。</p> <p>○コロナにより予定を変更して実施。</p> <p>○コロナにより、分散登校期間（9/6～9/14）に実施。 ※採用試験は従来通り 9/16 から開始。</p>

【自己評価及び課題等】

- コロナにより社会が大きく変化し、就職指導にも影響が残ったものの、内定率100%を達成をした。
- 今後は入社早々の離職を防ぐための内定後教育も必要。

重点目標	主な結果
3. 進路希望状況 (就職) ○学校紹介1次内定率の向上 (進学) ○オープンキャンパス・学校説明会に積極的に参加させる。	○就職 205名 進学 170名 公務員 9名 ○1次内定率 (10/14 現在 88.8%) ○愛産大オープンキャンパスは7/10に実施。オンラインによる方法が増加。

【自己評価及び課題等】

- コロナによる社会の変化に対応した就職指導が必要である。
- 多種多様な入学試験方法に対応できる基礎学力の向上と面接指導の強化が必要。

生徒会

重点目標	主な結果
1. 生徒会活動・各委員会活動の連携と活性化 ○生徒会顧問の指導により委員会活動を活性化 また、生徒会による学校生活アンケートを実施して、生徒・保護者との間に共通理解を持つ。 ○部活動の活性化	○コロナの影響により委員会ができない月があった。「生徒会だより」も未発行に終わった。(1学期) ○全国高校総体や選抜大会は感染対策を講じて実施。成果を上げた部活動も複数あった。

【自己評価及び課題等】

- 1学期中は委員会の開催や「生徒会だより」の発行が不十分であったが、2・3学期は委員会を3回実施、執行部だよりを1回発行した。今後も生徒主体の活発な生徒会活動の発展を実現させていきたい。

【主な部活動や同好会の成績】

- ◎全国高等学校総合体育大会 自転車競技大会 出場 (福井県大野市)
 トラック競技: ケイリン 額額楓太 (機械科2年B組)
 個人ロードレース 大岩広輝 (機械科3年A組)
 個人ロードレース 額額楓太 (機械科2年B組)
- ◎全国高等学校総合体育大会 空手道競技 ベスト32 (富山県上市町)

個人組手 橋口 翔（機械科3年B組）

◎第16回若年者ものづくり競技大会

（中央職業能力開発協会が主催し、技能五輪ユース大会とも呼ばれる）

全国電気工事競技の部 銀賞 井上将吾（電気科3年A組）

◎第27回愛知県高等学校工業教育研究会総合競技大会

電気工事競技の部 2位 林 春輝（電気科2年A組）

〃 3位 櫻井春希（電気科2年A組）

◎第20回高校生ものづくりコンテスト東海大会

（全国工業高等学校長協会が主催し、ものづくり甲子園とも呼ばれる）

電気工事部門 優勝 林 春輝（電気科2年A組） ※全国大会出場

◎第20回マーチングステージ全国大会 優秀賞（神奈川県民ホール）

◎第25回全国高等学校少林寺拳法選抜大会出場（香川県善通寺市）

規定組演武 高橋泰河（機械科2年B組）・中易快仁（機械科2年F組）

自由組演武 杉田翔哉（機械科2年D組）・長屋 凌（機械科2年E組）

重点目標	主な結果
2. 地域に貢献できる活動への積極的参加 ○ボランティア活動参加の呼びかけ、および活動実績の掲示 ○「ゼロの日」に通学路清掃活動の実施 ○橘座公演の実施。 ○文化祭の計画・実施	○コロナの影響により各種ボランティア活動は中止。 ○部活動生徒を中心に積極的にクリーン運動を実施。 ○コロナの影響で公演中止。 ○生徒と教職員のみで規模を縮小して開催した。被災地域（熱海・人吉）支援策として、物産品の販売を実施した。

【自己評価及び課題等】

○地域に愛される学校づくりの一環として地道に奉仕活動を展開する。

○コロナの影響で開催を見合わせている「橘座」を早く再開させたい。

校務

重点目標	主な結果
<p>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内設備による怪我ゼロを目標に施設、設備の定期点検の他、日頃からの見回りを実施して事故を未然に防ぐ。また、生徒に対し、危険因子を説明し、器物破損・事故防止の意識を高める。 ○省エネを推進し、目標値「前年度比1%削減」を目標に、意識の高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内設備による怪我はゼロ。引き続き安全指導を徹底し、けがや事故の発生しない環境整備を目指す。 ○エアコン使用後の確実な電源 OFF を目指すが、不十分。

【自己評価及び課題等】

○継続して安全点検を実行し、安全状態の維持および危険箇所の撲滅に努める。省エネについては、これまで以上の強い啓発活動と意識改革が必要。

重点目標	主な結果
<p>2. 危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練を計画・実施し、教員・生徒の意識を高める。また、不審者侵入の対応を検討し未然防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○9/1 避難訓練とあいちシェイクアウトはコロナの影響により中止。不審者情報対応訓練・岩塚グラウンドの風水害対策訓練は実施。

【自己評価及び課題等】

○大規模自然災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施し、速やかな避難の実践が求められる。

重点目標	主な結果
<p>3. 学校環境衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校舎内外の清掃の徹底 ○ゴミの分別徹底。減量化 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み期間業者による清掃を実施。今後は維持・管理を強化する。 ○毎日ゴミ回収に教員が立会い指導。分別の意識はあるものの、確実な実行には及んでいない。

【自己評価及び課題等】

○日々の積み重ねが結果に繋がる事を意識させる方法を検討する。
○ごみの分別や削減は生徒への指導は当然であるが、教員の意識向上も必要である。

重点目標	主な結果
4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加 ○保護者役員会を年5回実施 ○学校行事等の案内を出し、できるだけ多くの保護者に参加して頂く。	○第2回目のみ中止、その他は実施（懇親会は中止）。 ○コロナの影響により各行事とも内容を変更または縮小して実施したが、保護者入場には至らなかった。

【自己評価及び課題等】

○保護者との信頼関係を維持するため、また生徒のために、保護者会活動を重要な位置づけとして捉えた取り組みを継続していきたい。

総務・渉外

重点目標	主な結果
1. ホームページまたは印刷物による情報の提供 ○ブログの情報を随時提供する。	○ブログ掲載は108件。周知手段としても活用。 ○各学年および生徒会から各成果・結果を配信。

【自己評価及び課題等】

○担当業者との連絡を密にし、いち早く情報を提供できるよう今後も工夫が必要。

重点目標	主な結果()は前年比
2. 令和4年度入学生の確保 ○一般受験生1000名、入学者420名の確保。 ○各中学校との信頼関係を構築し、中学校訪問・進路(進学)説明会・見学説明会など生徒募集活動を計画的に実施する。 体験入学・入部・見学説明会で1000名以上の参加を目標。	○推薦+特色=262(-188) 一般受験生=871(-268) 入学者305(-198) ○体験入学・体験入部 8/27・8/28から変更して10/16に実施。 ○見学説明会3回実施 [11/14,11/28,12/5] 全イベントの述べ参加生徒=753(-378)

【自己評価及び課題等】

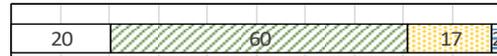
○体験入学・入部や見学説明会は次年度の生徒募集に繋がる重要な行事であるため、コロナ感染対策を講じたうえで、中止とせず可能な範囲で開催したが、新規入学生数は前年よりも減少した。

令和3年度 保護者学校評価アンケート結果

□ 十分 □ ほぼ十分 □ やや不十分 □ 不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

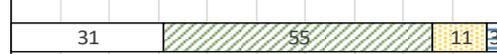
学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



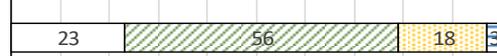
学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



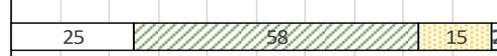
学校の雰囲気が高く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



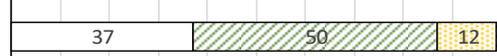
学校は生徒の実態に応じ、個別の課題設定や補充授業など、学力定着のための工夫を行っている。



学校は生徒の進路目標に応じ、柔軟な学習内容を提供している。



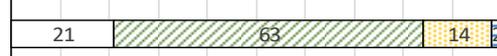
学校は生徒に資格試験や検定試験を通して、多様な学習機会を提供している。



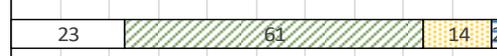
学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



学校は教員やカウンセラーが必要な時に親身になって相談に対応する体制ができています。



学校は外部講師を招いて講習会を実施するなど生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は進路目標の明確化に向け、生徒に必要な情報を提供している。



学校は希望進路の実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。



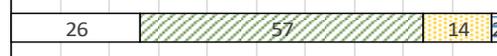
学校は体育大会などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるよう工夫している。



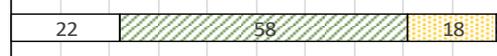
学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



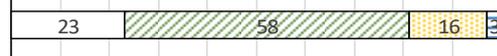
学校は新型コロナウイルス感染症拡大防止に対して校内各所に衛生備品を設置するなど適切に対応している。



学校はホームページや学年通信・保健室通信などによって、学校の情報を適切に伝えている。



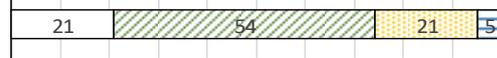
学校は定期的に学校生活アンケートを実施するなど日頃からいじめの早期発見・対応に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知し、対応訓練を実施している。



◎回答率 1,048 / 1,244=84.2 [%]